

2023年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	乳児保育Ⅱ		教員氏名	星 早織	
科目ナンバー	Ⅲ-6-1-4-2				
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	保育士	12年
テーマ	「乳児保育Ⅰ」での学びを深め、知識と理論を実践に結び付け専門性を発揮していくための実践力を養う				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	乳児期は人格の基礎が形成される重要な時期であることを理解した上で、個々の発達に合わせた一人ひとりの健やかな育ちを保障するために保育者として必要である受動的で応答的なかわりや、具体的な援助の仕方について学ぶ。 また、赤ちゃん人形を用いた保育体験やロールプレイ等の演習授業を通して現場に即した実践力を身に着ける。担当教員がもつ保育所保育士としての実務経験に基づく実践的な解説を通して乳児保育のあり方を考察する。				
授業の到達目標	1.3歳未満児の発達・発育の過程や特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解し論じることができる。				
	2.養護及び教育の一体性を踏まえ、乳児保育における配慮の実践について具体的に理解し論じることができる。				
	3.3歳未満児における保育の内容について基礎的な事項を理解し、保育の計画作成に応用することができる。				
テキスト	「改訂 乳児保育の基本」阿部和子編 萌文書林				
参考書	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」フレーベル館				
ポートフォリオ	なし				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他: 状況に応じて、対面授業とオンライン授業(ハイブリッド型)を併せて行う。				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	40	筆記試験 40%		
	授業内課題 参加度 出席態度等	60	授業内提出課題及び授業態度と意欲 60% (授業内容により、衛生、安全に配慮した服装や、身だしなみを指示する。怠った場合は衛生、安全の観点から授業への出席が認められない場合がある。)		
	その他				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	授業の概要と評価方法の確認 乳児保育の基本(子どもの主体性と自己の育ち、子どもの体験と遊びの芽生え)	
	授業外学習	<予習>シラバスを読む <復習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む	55分
第2回	テーマ 内容	乳児保育における子どもの発達・発育を踏まえた生活と遊びの実際① 子どもの生活や遊びを支える環境の構成(チャイルドビジョン)	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>授業の内容をまとめる	55分
第3回	テーマ 内容	乳児保育の基本①個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり 0歳児クラス	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む	55分
第4回	テーマ 内容	乳児保育の基本②子どもの主体性の尊重と自己の育ち 1歳児クラス	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む	55分
第5回	テーマ 内容	乳児保育における配慮の実際①環境の変化や移行に対する配慮 2歳児クラスの保育	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む	55分
第6回	テーマ 内容	乳児保育における計画の実際①長期的・短期的指導計画	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く、今までの学びを振り返る <復習>提示された課題に取り組む	55分
第7回	テーマ 内容	乳児保育における計画の実際②個別的・集団の指導計画 小テスト	
	授業外学習	<予習>今までの学びを振り返り復習する <復習>提示された課題に取り組む	55分
第8回	テーマ 内容	乳児保育における配慮の実際②集団での生活における配慮	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	55分
第9回	テーマ 内容	3歳未満児の発育発達を踏まえた生活と援助の実際 ふれあい遊びを題材に(調べ学習、グループディスカッション)	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	55分

第10回	テーマ 内容	子どもの1日の生活の流れと保育の環境 連絡帳(ペアワーク)	
	授業外学習	<予習>連絡帳について調べ、参考資料を用意する <復習> Googleclassroomに提示された課題に取り組む	55分
第11回	テーマ 内容	子どもの同士の関わりとその援助の実際 かみつきを例に挙げて(ロールプレイ)	
	授業外学習	<予習>かみつきについて調べ、参考資料を用意する <復習> Googleclassroom提示された課題に取り組む	55分
第12回	テーマ 内容	3歳未満児の発育発達を踏まえた遊びと援助の実際 ふれあい遊びを題材に(プレゼンテーション)	
	授業外学習	<予習>これまでの学びを発展させて、あらたに調べたことを含めて発表の準備を行う。 <復習> 提示された課題に取り組む	55分
第13回	テーマ 内容	本授業でのまとめ	
	授業外学習	本授業で学んだことや学生自身の学びの確認をする	55分

課題に対するフィードバックの方法

- 授業内容、課題などの質問については授業後、又はオフィスアワーにおいて対応する。
- 提出された課題について、返却時に口頭やプリントにて取り組みの成果と今後の課題についてフィードバックを行う。

2023年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	乳児保育Ⅱ		教員氏名	原田 憲子	
科目ナンバー	Ⅲ-6-1-4-2				
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	保育園副園長・幼稚園副園長	18年
テーマ	「乳児保育Ⅰ」での学びを深め、知識と理論を実践に結び付け専門性を発揮していくための実践力を養う				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	乳児期は人格の基礎が形成される重要な時期であることを理解した上で、個々の発達に合わせた一人ひとりの健やかな育ちを保障するために保育者として必要である受容的で応答的なかわりや、具体的な援助の仕方について学ぶ。また、保育園副園長・幼稚園副園長の経験から、乳児保育について解説する。				
授業の到達目標	1.個々の発達に応じた保育者の関わり・内容・環境について理解し論じることができる。				
	2.3歳未満児における保育の計画について基礎的な事項を理解し、保育の計画作成に応用することができる。				
	3.3歳未満児保育における保育者、保護者との連携について考え、支援を展開できる。				
テキスト	『乳児保育 一子ども・家庭・保育者が紡ぐ営みー〔第2版〕』 入江慶太 教育情報出版				
参考書	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」フレーベル館				
ポートフォリオ	なし				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(Googleclassroom含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	40	筆記試験 40%		
	授業内課題参加度 出席態度等	60	授業の取り組み30%、発表レポート・提出物状況30%		
	その他				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	授業の概要と評価方法の確認 乳児保育の基本(子どもの主体性と自己の育ち、子どもの体験と遊びの芽生え)	
	授業外学習	<予習>シラバスを読む <復習>提示された課題に取り組む	55分
第2回	テーマ 内容	乳児保育における子どもの発達・発育を踏まえた生活と遊びの実際① 子どもの生活や遊びを支える環境の構成	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>授業の内容をまとめる	55分
第3回	テーマ 内容	乳児保育の基本①個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり 0歳児クラス	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	55分
第4回	テーマ 内容	乳児保育の基本②子どもの主体性の尊重と自己の育ち 1歳児クラス	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	55分
第5回	テーマ 内容	乳児保育における配慮の実際①環境の変化や移行に対する配慮 2歳児クラスの保育	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	55分
第6回	テーマ 内容	乳児保育における配慮の実際②集団での生活における配慮	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	55分
第7回	テーマ 内容	乳児保育における計画の実際①長期的・短期的指導計画	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く、今までの学びを振り返る <復習>提示された課題に取り組む	55分
第8回	テーマ 内容	乳児保育における計画の実際②個別的・集団の指導計画	
	授業外学習	<予習>今までの学びを振り返り復習する <復習>提示された課題に取り組む	55分
第9回	テーマ 内容	3歳未満児の発育発達を踏まえた生活と援助の実際 (グループワーク)	
	授業外学習	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	55分

第10回	テーマ 内容	子どもの1日の生活の流れと保育の環境	
	授業外学習	<予習> 参考資料を用意する <復習> Googleclassroomに提示された課題に取り組む	55分
第11回	テーマ 内容	子どもの同士の関わりとその援助の実際	
	授業外学習	<予習> 参考資料を用意する <復習> Googleclassroom提示された課題に取り組む	55分
第12回	テーマ 内容	3歳未満児の発育発達を踏まえた遊びと援助の実際	
	授業外学習	<予習> 教科書を良いM、重要事項に下線を引く <復習> 提示された課題に取り組む	55分
第13回	テーマ 内容	本授業でのまとめ	
	授業外学習	本授業で学んだことや学生自身の学びの確認をする	55分

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内容、課題などの質問については授業後、又はオフィスアワーにおいて対応する。
- ・提出された課題について、返却時に口頭やプリントにて取り組みの成果と今後の課題についてフィードバックを行う。